

21世紀政策研究所プロジェクト「本格政権が機能するための政治のあり方」 2014.4.23

第5章 参議院の果たすべき役割とはなにか

—「決算の参院」という存在理由の模索—

明治大学政治経済学部教授

西川伸一

はじめに

第二院のアポリア:「第二院は何の役に立つのか、もしそれが第一院に一致するならば、無用であり、もしそれに反対するならば、有害である」

参議院批判の「定番」:「衆議院のカーボンコピー」「強すぎる参議院」

あるべき参議院像の「定番」:「再考の府」「良識の府」



参議院はなにを「再考」すべきなのか、なにに「良識」を示すべきなのか。



決算審査

予算編成とならぶ、国会の重要な財政統制機能。

政局に左右されない参議院に向いている。

1

21世紀政策研究所プロジェクト「本格政権が機能するための政治のあり方」 2014.4.23

1 滞る近年の決算審査

@決算審査の理想的スケジュール:

11月20日前後に、前年度決算を臨時会に提出し、ただちに決算行政監視委員会(衆院)、決算委員会(参院)に付託。



当該臨時会、さらには続く常会で決算審査を行い、常会中に本会議で議決。

@2007年度決算の場合

国会提出	2008.11.21		
衆: 決算行政監視委付託	2008.11.26	参: 決算委付託	2008.11.26
同委員会議決	2009.6.24	同委員会議決	2009.6.29
同本会議議決	2009.6.25	同本会議議決	2009.7.1

☆2003年度～2007年度決算:「「決算の参院」の黄金期」

@近年の「惨状」: 議決未了決算の滞留

衆) 2009年度～2012年度の4か年度分

参) 2011年度、2012年度の2か年度分

2

21世紀政策研究所プロジェクト「本格政権が機能するための政治のあり方」 2014.4.23

2 参議院改革の中の決算重視

- ① 河野謙三議長設置「参議院問題懇談会」の意見書(1971)
「参議院は行政監視機能の発揮につとめ、特に決算を重視し」
→参院の決算重視に「「原典的な」意味を与えた」
 - ② 斎藤十朗議長設置「参議院制度改革検討会」の報告書(1996)
決算の早期提出を求め、提出後国会でただちに決算委員会において
審査ができるように配慮すべきことを謳う。
 - ③ 倉田寛之議長設置「参議院改革協議会」の報告書(2003)
「決算審査は、審査の結果を翌年度予算編成の概算要求に反映できる
ようにするため、常会中に終了するよう努めるものとする」
-
- ④ 参議院自民党「参議院改革に関する委員会」の提言(1999)
「本院の独自性発揮のポイントとして、参議院の「決算審査の重視」を
位置付けるべきである」
 - ⑤ 「各党とも何人かそういう決算男、決算女がいて」(今井澄参院議員(社会))
3

21世紀政策研究所プロジェクト「本格政権が機能するための政治のあり方」 2014.4.23

3 青木=鴻池「決算革命」が実現したもの

@青木幹雄自民党参議院幹事長

参議院改革協議会座長として、報告書取りまとめに尽力。
「衆院と同じようなことをやってたんじゃあ、参院の存在意義が問われる」

@鴻池祥肇参議院決算委員長

異例の閣僚経験、2年在任。
青木報告書に基づく、「「決算の参院」の黄金期」をはじめる。
「好き放題やれ。参院の意地をみせろ。責任はおれが取る」[松井孝治決算
委員]われわれ鴻池組です。鉄火肌で、突っ込んでいくときの凄み、そして野
党よりも野党的。仕上げではみんなで4時間も議論した」と言う。」

むすびにかえて ～裏切られた「革命」?～

民主党政権以降、「決算の参院」は看板倒れに。
ただし、野田首相の問責決議案可決後にも決算委員会が開催されたことは特
筆すべき。 ☆「参議院の歴史と伝統に新たな一ページ」
4